

河川等の水質検査結果についてお知らせします

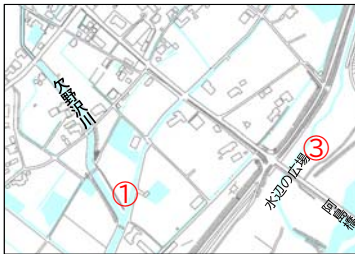
環境衛生委員会では、河川等地区内5カ所において水質検査を実施しました。委員会事業として毎年実施している水質検査ですが、今年度は、市環境アドバイザーの浅野清志先生にご指導をいただき実施しました。検査結果は以下の通りです。

■検査結果

採取日：6月26日（水）午後2時～3時 天気：曇り一時雨 気温：31℃

採取場所	PH	BOD mg/l	SS(浮遊物質) mg/l	窒素含有量 mg/l	大腸菌群数 ｺ/ml
①欠野沢川(中水用水路合流地点)	7.3(7.5)	1.5(1.9)	27(10)	2.5(2.6)	810(410)
②白山下	7.3(7.4)	0.9(0.5)	16(7)	2.1(2.1)	510(170)
③水辺の広場内	7.6(8.3)	2.0(1.2)	51(9)	1.2(1.4)	770(300)
④土曾川(宮崎地籍)	7.4	1.1	3	2.5	640
⑤南大島川(高岡地籍)	7.5	1.1	7	1.2	480

※（ ）の数値は昨年度の結果（R1.6.26採取） ①～③は昨年度採取した場所と同じところ、④・⑤は新規実施。



検査項目について

PH（水素イオン濃度）…酸性・中性・アルカリ性を示す指標。河川的环境基準は6.5以上～8.5以下。

BOD（生物学的酸素要求量）…BODが高いということは溶存酸素が欠乏しやすいことを意味し、10mg/l以上では悪臭の発生の障害が現れ始める。

SS（浮遊物質）…水中に懸濁している不溶性の粒子状物質のことで、粘土鉱物に由来する微粒子や、動物性プランクトン及びその死骸、下水・工場排水などに由来する有機物や金属の沈殿などが含まれる。
大腸菌群数…大腸菌群は一般に人畜の腸管内に存在するもので、これが水中に存在することはその人が人畜のし尿の汚染を受けた可能性があることを意味する。



座光寺地域では、第2次座光寺地域基本構想・基本計画において、地域内の小川を汚さないように努め、清らかな水が流れ、魚の住める水質環境を保つためBOD2mg/l以下を維持することを目標に掲げています。

◆結果について（環境アドバイザー浅野先生によると）

○昨年より数値が高くなっているところがありますが、これは採取日の天候が影響しているそうです。

当日は、雨が降ったりやんだりしていたため、道路の汚れや泥が雨で流れたことによりです。また、採取場所の上流で草刈りをすると、草やごみが流れるため、これも大きく影響するそうです。いずれも問題ない数値とのことでした。

○座光寺地区内の河川は、「生き物が住みやすい、全体的に良い条件の水質と言える」「毎年同じくらいの時期に検査し、定期的に確認できるとよい」とのアドバイスもいただきました。

昔は、子どもたちがバケツや網を持って虫や魚取りをしている光景をよく目にしたというお話を聞きます。最近では道路や河川の整備により形態が大きく変わるなど、そうした光景はなかなか見られなくなりましたが、地域の中には、きれいな湧き水が出ていたり、ホタルが生息しているところもあり、きれいな自然環境を感じることができます。

環境衛生委員会では、これからも地域内の水質環境が保たれるよう、水質検査を継続していきたいと思えます。

